

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性
05246	市民	「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することで、健康な身体をつくり、生活習慣病の予防または、生活習慣病の改善を図る。						生活習慣病に関する住民の意識はそれぞれであり、かからないようにすることが大切であるという意識を住民一人ひとりが持つようしていきたい。		健康的な食生活の重要性を理解してもらうため、食生活改善推進員の養成を実施しており、その修了者はボランティアの食生活改善推進協議会に加入し、健康づくりのための幅広い活動を続けている。今後は、食育推進関係機関とのネットワークを立ち上げ、各年代層にあった食生活の改善、栄養知識の普及を図っていきたい。		継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績					
食育・食生活改善事業	栄養指導数(乳幼児)	人	1,600	1,577	総コスト	12,796	12,406					
	栄養指導数(成人)	人	600	603				直接事業費	1,796	1,629		
所管課					人件費	11,000	10,777					
国保・健康課	数値化できない成果	採用所給食支援事業に対する満足感、入所児童の満足感、後生活改善推進員活動による健康向上、生活習慣病の罹患の予防、遅延状況				特定財源	0	0				
					一般財源	12,796	12,406					
05250	市民(成人)	生活習慣病を予防改善して心身ともに健康な状態が維持でき、元気で自分らしく生活することができる						働く世代が対象であるため、健康への意識が高揚し、行動変容を促すような周知方法、実施方法を検討する。		平成20年度から義務付けられる特定健診・保健指導はメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目し、生活習慣病の予防対策を進めるものであります。今後、生活習慣病予防についての取り組みについては、関係機関とも検討をしていながら市民自らの健康管理意識につなげていきたい。		継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績					
生活習慣病予防・改善事業	健診結果の循環器疾患の割合	%	40.0	23.2	総コスト	16,146	17,431					
	健康相談参加者数	人	7,000	11,271				直接事業費	1,866	1,428		
所管課	病態別健康教育参加者数	人	1,900	1,396	人件費	14,280	16,003					
国保・健康課	生活習慣改善等による検査結果の改善率	%	75.0	80.0	特定財源	434	249					
	個別健康教育による糖尿病予備群の改善率	%	90.0	71.4	一般財源	15,712	17,182					
	数値化できない成果	自己の健康感の変化、生活習慣改善における意識の変化、満足度										
05252	小児期の子ども及び保護者	基本的な小児期の生活習慣の確立ができるようにする。保・幼・小・中学校との連携						重要指標の実績値が前年度と比較して向上していないが、内容の充実が図られている。今後も回数だけでなく内容において向上していくよう取り組んでいきたい。		関係者との協議により、生活習慣の確立ができやすい環境づくりを図ってきたい。		継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績					
小児生活習慣確立支援事業	健康教育開催回数	回	15	13	総コスト	1,500	1,672					
	学校保健委員会への参加回数	回	10	5				直接事業費	0	0		
所管課					人件費	1,500	1,672					
国保・健康課	数値化できない成果	生活習慣改善意識の変化				特定財源	0	0				
					一般財源	1,500	1,672					
05241	心の健康づくりが必要な市民	心のバランスが保て地域で生活できるための環境づくり。心の健康に関する知識の普及啓発。						利用者・対象者のニーズの把握に努め、県の協力や市民参画などを利用しながら、事業実施に取り組んでいく。		市民の多様なニーズに対応できる内容の検討と、専門性を持った人材の発掘・育成に努力していきたい。		継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績					
心の健康づくり事業	心の健康づくり教育受講者数	人	150	544	総コスト	5,260	4,075					
								直接事業費	260	140		
所管課					人件費	5,000	3,935					
国保・健康課	数値化できない成果	相談内容、関係機関との連絡調整内容				特定財源	0	0				
					一般財源	5,260	4,075					
05243	乳幼児～高齢者	健康な歯と歯ぐきをつくり、80歳で自分の歯を20本持ち噛むことができるよう支援する。						県及び歯科医師会・歯科衛生士会と協力を図り、健康チャレンジデー等にて幅広い年齢層に対し利用し歯科保健の充実に取り組んでいく。		健康のバロメーターとも言われる歯の健康については、幅広い年齢層に関心をもってもらうために、関係機関との連携を図っていきたい。		継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績					
8020運動推進事業	歯科検診の受診者数	人	500	678	総コスト	2,159	1,873					
								直接事業費	609	575		
所管課					人件費	1,550	1,298					
国保・健康課	数値化できない成果					特定財源	0	0				
					一般財源	2,159	1,873					

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性	
05244	妊婦・乳幼児および保護者	心身ともに健康に暮らすことができ生涯を通しての健康づくりへの基礎づくりが出来るようにする。						重要指標の実績値が前年度と比較して向上していないが、ほぼ横ばいで推移しており、今後も受診率の向上に向け取り組んでいく。 対象者のニーズに沿い事業目的を達成できるように、新生児訪問事業の周知の充実や、発達支援教室の開始、妊婦に優しい街づくりの推進などに取り組んでいきたい。	少子化対策として、安心安全の出産・育児が出来るよう、妊婦健診無料受診券の4枚発行を継続するなど、母子支援を続けていきたい。 また、新生児訪問指導においては、全戸訪問事業(次世代育成支援対策による)との連携により、心のケアを含めたタイムリーな支援につなげたい。	継続する	
事業名	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
母子保健・支援事業	3～4か月児健康診査の受診率	%	95.0	93.0	総コスト	37,589	34,979				
	1.6歳児健康診査の受診率	%	95.0	97.0							
	3歳児健康診査の受診率	%	95.0	93.0							直接事業費
所管課	2歳児歯科健康診査の受診率	%	60.0	69.0	人件費	15,619	17,152				
国保・健康課	妊婦健康診査受診券の利用率	%	100.0	94.0	特定財源	0	0				
	数値化できない成果				一般財源	37,589	34,979				
05249	市民(成人)	健康改善及び疾病の早期発見を行い、健診結果から発病予防に積極的に取り組み、健康の保持増進を図るようにする。						受診率を上げるために、検診の周知方法、申込方法や実施方法などを、さらに検討していく必要がある。	医療制度改革関連法の成立により、平成20年度から、各保険者に特定健康健診・特定保健指導が義務付けられることになり、さぬき市においても国保加入者の40歳以上の方の健康診査・保健指導が義務づけとなりました。このことから、今後の健康診査のあり方を住民のかたに、理解をしていただくための広報活動が重要になっています。なお、がん検診等の人間ドック健診については、今後とも継続していきたい。	継続する	
事業名	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
健康診査事業	基本健康診査結果による要医療者の割合	%	40.0	42.8	総コスト	104,181	89,697				
	健診受診者総数	人	15,000	16,367							
	事後指導実施者数	人	6,000	6,454							直接事業費
所管課					人件費	11,255	11,264				
国保・健康課					特定財源	33,725	32,239				
	数値化できない成果				一般財源	70,456	57,458				
05251	予防接種を受ける市民	安心して予防接種を受け、疾病に罹患せずに健康を保てるようにする。						予防接種の重要性を認識してもらうために、乳幼児健診時や広報を通して周知し、予防接種率の向上を図る。	予防接種の重要性を認識してもらうために、今後とも、広報活動を進めていきたい。	継続する	
事業名	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
予防接種事業	ポリオ予防接種接種率	%	98.0	98.0	総コスト	56,235	47,590				
	BCG予防接種接種率	%	98.0	99.0							
	三種混合予防接種接種率	%	95.0	97.0							直接事業費
所管課	麻しん風しん混合(1期)予防接種接種率	%	98.0	98.0	人件費	5,000	4,929				
国保・健康課	インフルエンザ予防接種接種率	%	50.0	53.0	特定財源	4,338	4,285				
	数値化できない成果				一般財源	51,897	43,305				
05328	利用者	地域住民が常に安心して暮らせる環境を作るため、退院後を始めとする生活支援に対する指導、相談業務の充実を図る。また各種健康教室の開催により、病気に対する予防啓発に努める。						各種健康教室開催の院内での告知個所をさらに増やし、病院来院者への告知に努めたい。またその運用方法等についても他の実施団体との情報共有を図っていきたい。	-	継続する	
事業名	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
国保健康管理事業	糖尿病教室参加人数	人	300	264	総コスト	4,200	6,686				
	酒害教室参加人数	人	260	242							
	安産教室参加人数	人	130	162							直接事業費
所管課	院外健康教室開催回数	回数	40	57	人件費	0	0				
市民病院事務部総務課	総合相談窓口における新規相談	件数	600	663	特定財源	4,200	6,686				
	数値化できない成果				一般財源	0	0				
05336	健診・人間ドック受診者	法令等に基づく健診、疾病の早期発見に努めるために人間ドックを実施。						ドック受診者を増やせる需要はあるが、1日に受け入れられる人数が決まっているため申込があっても断っている状況である。施設及び健診設備の拡充、担当職員の増員などが望まれる。 また、人間ドックの結果票とともに異常があった場合は二次検査依頼状を送付し受診を呼びかけているが、返信のない事も多いため、二次検査及び治療にどの程度関与しているか動向調査が必要である。	健診業務については、特定健診が平成20年度から開始されることから、より一層の受入体制の充実が求められている。従事職員の増員や設備の改善が必要ではあるが、施設的には新病院に委ねることとし、保健指導活動に従事する看護師、管理栄養士については、可能な限り現職の職員を異動配置して対応するなど、経営状況を考慮したうえで、費用対効果を検討すること。	重点的に継続する	
事業名	指標名		単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
健診・人間ドック業務	人間ドック・脳ドックの実施者数	人	1,600	1,657	総コスト	10,441	8,154				
	その他健康診断実施者数	人	1,550	1,690							
											直接事業費
所管課					人件費	7,652	4,140				
市民病院事務部医事課					特定財源	10,441	8,154				
	数値化できない成果				一般財源	0	0				

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05097	市民、犬等の管理者	犬等の適切な管理をし、狂犬病等感染症の発生を防ぐ						-	狂犬病予防注射接種率の低下が懸念される。 狂犬病撲滅には70%の接種率が目安とされていることから、それを目指して、広報啓発等を行っていきたい。	継続する
事業名										
飼い犬・野犬等対策事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	狂犬病予防注射接種率	%	70.0	58.0		計画	実績			
	捕獲野犬数	頭	200	261	総コスト	11,736	14,014			
所管課					直接事業費	8,111	7,599			
生活環境課					人件費	3,625	6,415			
	数値化できない成果				特定財源	8,925	9,038			
					一般財源	2,811	4,976			
05098	市民	感染症の発生を防ぐ						-	-	継続する
事業名										
防疫事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	法定感染症発生件数	件	0	0		計画	実績			
					総コスト	1,178	997			
所管課					直接事業費	931	820			
生活環境課					人件費	247	177			
	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	1,178	997			
05242	施設を利用する市民	保健事業の活動の拠点をつくる						施設使用料について、類似施設の徴収状況により今後検討していく。	施設の老朽化が進んでいるものもあり、他の施設との有効利用を検討することが必要である。また、使用料については類似施設との均衡を図りながら検討していきたい。	継続する
事業名										
保健センター管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	保健センター利用者数	人	18,000	19,982		計画	実績			
	利用者一人当たりのコスト	円	376	318	総コスト	6,772	6,363			
所管課					直接事業費	5,132	4,544			
国保・健康課					人件費	1,640	1,819			
	数値化できない成果				特定財源	0	0			
					一般財源	6,772	6,363			